

事務事業評価シート(平成19年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
04301	診療所運営事業	保健福祉課	国保医療係	井口 敬子	松井 夕起子
		一次評価年月日	平成 20 年 7 月 24 日	連絡先(内線)	43-3333
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input type="checkbox"/> 一般 <input checked="" type="checkbox"/> 特別	5201	施設管理費	
	<input type="checkbox"/> 一般 <input checked="" type="checkbox"/> 特別	5202	医療費		
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	2章	安らぎと潤いのある社会	
		節 (コード選択)	2節	いきいきとした健康な暮らしを築く	
		項[基本施策] (コード選択)	223	地域医療体制の拡充	
		主な取り組み (コード選択)	2238	第一診療所、川島診療所の運営と今後のあり方についての検討	
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) 39 年度 ~ (終了予定) 年度	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし		

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。
羽北地区・川島地区住民であって、高齢者で他の医療機関へ自分では行かない方を対象として診察、往診を行っている。
②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。
交通手段を使わずに、身近な診療所で医療の提供が受けられるように、また、高齢者自身が自分で診察を受けに来られることによって、家族が他の医療機関への送迎等が免れる。
③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。
1 高齢者の慢性的な疾患に対応するため委託医師の診療、往診を現状と同行うことで安心感が得られる。
2
3
4

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		18年度	19年度	20年度 (見込み)	21年度 (見込み)	22年度	年度 (見込み)
①	指標名 年間診療日数	日	139	92	90	90	90
	説明 第一診療所年間開所日数	目標値設定の根拠	週2日診療しているが、患者数を考慮し日数の調整を図り経費を抑え継続していきたい。				
②	指標名 年間診療日数	日	100	96	64	50	50
	説明 川島診療所年間開所日数	目標値設定の根拠	週2日診療しているが、患者数を考慮し日数の調整を図り経費を抑え継続していきたい。				

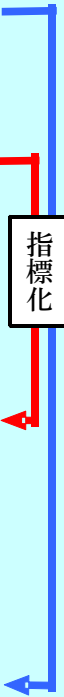
(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		18年度	19年度	20年度 (見込み)	21年度 (見込み)	22年度	年度 (見込み)
①	指標名 年間診療件数	件	815	763	720	680	640
	説明 第一診療所年間診療件数	目標値設定の根拠	週2日診療しているが、患者数の減少はいとめることは不可能				
②	指標名 年間診療件数	件	562	465	350	300	280
	説明 川島診療所年間診療件数	目標値設定の根拠	週2日診療しているが、患者数の減少はいとめることは不可能				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法		<input checked="" type="checkbox"/> 決算書・予算書等に記載の数字	<input type="checkbox"/> 按分計算による算定																		
		平成18年度 決算	平成19年度 決算	平成20年度 見込み	平成21年度 見込み																
○総事業費(コスト概算) = ①+②		(千円)	15,444	15,398	13,512	11,512															
対前年比		%		99.7	87.8	85.2															
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)			15,444	15,398	13,512	11,512															
B) 一般財源(税金)																					
①事業費		(千円)	14,176	13,878	12,000	10,000															
対前年比		%		97.9	86.5	83.3															
②人件費の概算		(千円)	1,268	1,520	1,512	1,512															
対前年比		%		119.8	99.5	100															
		課長	課長補佐		係長		一般職員		延べ人数		年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費							
		H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H18	H19	H20	H21	/	/	/	/			
町職員(正規職員)		0.02	0.02	0.02	0.01	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	0.05	0.05	0.05	0.16	0.18	0.17	0.17	1,268	1,520	1,512	1,512
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0

指標化



(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	C	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	B	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない アンケート等の実施はないが、減少傾向ではあるものの定着した患者数で推移しているためニーズはある。

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)

19年度から、両診療所共に週2日の診療日に変更し、伴ってそれぞれ定額経費100,000円とした。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

20年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

一般会計からの繰入をせずに診療収入から医薬費および経費を差引き委託料を支払う事業を遂行できなくなった場合や、医師との契約が整わない場合は廃止もやむを得ない。

一般会計からの繰入は積算外

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

A. 貢献度 大
 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

医師の確保が可能な限り診療を継続したい

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

d 上記 a~e を選択